様式1-1 (その1)

通常給付要件に該当する世帯(令和6年度住民税が非課税又は令和6年7月1日現在生徒が生 業扶助受給等)はこの申請書を記入し、必要書類とともに学校事務室へ提出してください。

令和 6 年 7 月 日

茨城県立鉾田第二高等学校長 殿

		茨城県国公立高	高等学校等奨	学給付金雪	受給申請書			
<u>次の4</u>	点を必ず確認の」	7月1日時点の状況により こ、□にレ点を付けてく 歌内容は、事実に担意な	ださい。(注: ど	=	<u>亥当する場合、申</u>	請が可能で	<u>*†.)</u>	
※必須項目□ □ □	必 □ この申請書に虚偽の記載があった場合は、茨城県の求めに従いその全額を即時返還します。 項 □ 私は、茨城県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。							
		となる高校生等(母子生 受措置費(見学旅行費又					童福祉法に	
国公	:立高等学校等奨学	と給付金の受給を申請し	ます。					
	-	₸		ふりがな				
	申請者住所			申請者氏》	名			
				自宅電話番	号			
R6. 1.	1時点の居住市町村			携帯電話	i			
高村	交生等との関係	親権者 ・ 未成年後見人生徒本人 ・ その他(、• 未成年後見	^扎 人である里新)	現 ・ 主たる <i>5</i>	上計維持 者	•	
【対象	となる高校生等につ	oいて】						
	ふりがな			生年月日	昭和	年	月	日
	氏名			工中方口	平成	+	Л	Н
		茨城県立鉾田第二高等	等学校					
在学	学校の名称	国立・公立				(学年	手: 年生)	
する		学校の種類・課程・質	学科: 高等学	学校(全日制)総合学科	斗・農業科	科・食品技術和	斗
学 校	学校の所在地	茨城県鉾田市鉾田1	158番地					
	在学期間	年 月 日	~ 年	月日				
過5	去の高等学校等	学校名 立	年 月~ 年	日月日	学校の種類・課程		在学中に給付金を受給 はし 1回 2回 3回 □ □ □ □ □	
には	おける在学期間	学校名 立	年 ~ 年 年	月 月	学校の種類・課種	力	在学中に給付金を受給 なし 1回 2回 3回 □ □ □ □	
↓上記の記		兄弟姉妹がいる場合は記入してくだ 「	さい。(兄弟姉妹が2	名以上いる場合は	、申請書コピーに	記入し添付し	てください)	
	ふりがな			生年月日	昭和	年	月	日
	氏名 			, , , ,	平成			·
+	W. I. I	茨城県立鉾田第二高等	等学校 ————————————————————————————————————					
在 学校の名称 学		国立 · (公立) (学年: 年生)						
する		学校の種類・課程・	学科: 高等学 ————————————————————————————————————	学校(全日制) 総合学科 —————	斗・農業科	科・食品技術和	斗
る学校	学校の所在地	茨城県鉾田市鉾田1	158番地					
	在学期間	年 月 日	~ 年	月日			1. W. I	A > > = W/
	去の高等学校等	学校名 立	年 月 ~ 年	月 日	学校の種類・課種	₹ _d	在学中に給付金を受察 なし 1回 2回 3回 □ □ □ □	4回 不明
には	おける在学期間	学校名 立	年 ~ 年	月 日	学校の種類・課種		在学中に給付金を受給 はし 1回 2回 3回 □ □ □ □	

様八Ⅰ-	-2 (その	1)			(1) (0) + + + + (2) 0 3 =		
【令和6	年7月1日現	在の保護者	等の収入 の	の状況について】	(1)、(2)または(3)のっっ レ印を付けてください	ち、いずれか1つの□に 。	
	上活保護法 (合しているこ			第36条の規定による 出します。	生業扶助(高等学校等	F就学費)を	
口生	業扶助(高	等学校等就学	学費)を受	給していることが分か	る証明書		
(2) %	次の者の課税	証明書等を	提出します				
	親権者(i	両親)2名タ	み ・生徒が	未成年(18歳未満)であ	り、親権者(両親)が2	2人存在する場合	
	親権者12			的に親権を行う児童相 その者を除く。)	談所長または児童福祉	Ŀ施設の長	
2 [の場合 事情によりやむを得ず、	親権者の1人の課税証明	月書等を提出	
3	・親権者が (未成年4 ※未成年後	後見人が複数	R成年後見人 選任されてい である場合又	が選任されている場合 いる場合は、全員分) は財産に関する権限のみ	々を行使すべきこととされ	1ている者	
4] ・生徒が在			特している者(主たる 成人する直前の未成年の			
	主たる生	計維持者14	名分				
5	」・入学時点・生徒が成	で生徒が成人 人であり、未	、であったが R成年の時点	成年後見人が存在しない、主たる生計維持者が有で親権者が1人だった場で親権者又は未成年後見	在する場合 合	合 等	
6	ルスノくにほ	としている物に	1	生計維持者のいずれも存 得割を課されるだけの収			
(3) 2	次の理由によ	り、課税証	明書等を提	出しません。			
口在) であるが、		者、未成年後見人又は 「道府県民税所得割額			るだけの収
※ 1	(2) または	(3)の場	合には、下	記の内容を確認の上、	口にレ点を付けてく	ださい。	
口 <u>私</u>		7月1日現在		護法第36条の規定によ <mark>必須項目</mark>	る生業扶助(高等学	咬等就学費)は <u>受給</u>	<u>・していませ</u>
対象と	なる高校生	- 等の 「親権者	党世帯の場合 f, 主たる生	合のみ記入(生業扶助世計維持者(上記④に該当	当する場合は2名)または		含む)」及び
世	続柄	氏	名	生年月日(年齢)	職業・学校名・ 学年等	(高校生等の場合) 課程	備考
帯				(才)		□通信制 □専攻科 □通信制以外 □通信制 □専攻科	
員の				(才) (才)		□通信制以外 □通信制 □専攻科 □通信制以外	
状				(才)		□通信制 □専攻科 □通信制以外	
況				(才) (才)		□通信制 □専攻科 □通信制以外 □専攻科	
				(1)		□通信制以外	

							(-1)	
							(才)	
	学校	交使用欄						
		300円 ×		F	9			
ĺ	122,	100円 ×	名=		9			
ĺ		700円 ×		F	9			
ĺ	50,	500円 ×	名=	F	9 台	`計		円

記入例

殿

※基準日(7月1日)以降の申請日を 記入してください。

令和 6 年 7 月 ○日

茨城県立鉾田第二高等学校長

この申請書は、令和6年7月1日時点の状況により記載してください。 次の4点を必ず確認の上、口にレ点を付けてください。(注:次の4点全でが該当すべき) この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。 必ず図を入れてくます。 必ず図を入れてくます。	
※ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。	
~	
☆ 【 🗖 こ 🔿 申請書に虚偽の記載があった場合は 茨城県の求めに従いその4 🕉 🦤 🖺 とくれしく	
	~ 7 \ Tr \
類 I □ I C C C C C C C C C C C C C C C C C	7 (0.40)
目 【☑】この申請の対象となる高校生等(母子生活支援施設に入所する高校生場合は申請できま ■ ☑ よる児童入所施設措置費(見学旅行費又は特別育成費)の支弁対象で	せん。
■よる児里八別胞設指直賃(兄子旅行賃又は特別目成賃)の文井対象(
国公立高等学校等奨学給付金の受給を申請します。), l. d. ~
	はなこ
	花子
自宅電話番号 029-000-000 R6. 1. 1時点の居住市町村 水戸市 携帯電話 090-000-000	
対 安子	
高校生等との関係 生徒本人 上でください。 生様本人 は民票等に記載されている氏名を記入 り里親 保護者等の氏名を記入して 等がいない場合は、生徒本人	
	A CHOICE
【対象となる高校生等について】	
ふりがな いばらき たろう 生年月日 昭和 ○ 年 ○ ○	月日
氏名 茨城 太郎 「平成」 「平成」 「平成」 「平成」 「平成」 「平成」 「平成」 「平成」	
茨城県立鉾田第二高等学校	
在 学校の名称 国立 ・ 公立 (学年:○年生)	
学 学校の種類・課程・学科: 高等学校(全日制) 総合学科 農業科・食	品技術科
る 学	
在学期間 令和〇年 4月 1日 ~ 令和一年 月 日	
Y $\overline{\mathbf{x}}$ Y $\overline{\mathbf{x}}$	ご給付金を受給した回数
過去の高等学校等	こ給付金を受給した回数 プ
To To To To To To To To	2回 3回 4回 不明
□ 過去に在籍した高校があれば記入してください。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
ふりがな	
氏名 生年月日 平成 年	月日日
茨城県立鉾田第二高等学校	
在 学校の名称 国立 ・ 公立 上記の生徒の他、同校に在学している兄弟姉妹(7月1)	日現在の在籍
す 学校の種類・課程・学和者/については、上記と同様に記入してください。	
る 学校の所在地 茨城県鉾田市鉾田 1 1 コピーに記入し、申請書に添付してください)	「るため甲請書の
在学期間 年 月 日 ~	- 100 - 144 -
学校名 世ず、それぞれの学校に在学している場合は、この 学校名 立 せず、それぞれの学校に申請書を提出してください。	
における在学期間 学校タ 年 日 日 学校の種類・課程・学科 在学中に	こ給付金を受給した回数
立	2回 3回 4回 不明

記入例 生活保護(生業扶助(高等学校等就学費)) 受給世帯 様式1-2(その1) の方は、こちらに図を入れてください。 【令和6年7月1日現在の保護者等の収入の状況 レ印を付けてください (1) 生活保護法 (14年) 第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)を 受給していることが分かる証明書を提出します。 □ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書 (2) 次の者の課税証明書等を提出します。 非課税世帯の方は、 親権者(両親) 2名分・生徒が未成年(18歳未満 (1)該当するチェックボックスに図を入れてください。 親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児 である場合は、その者を除く。) 2 ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出 できない場合 等 **未成年後見人()名分** ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合 未成年後見人(3 (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者 である場合は、その者を除く。 生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(両親等) 2名 4 ・生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者 に変更がない場合 主たる生計維持者1名分 ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合 (5) ▋・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 生徒本人 ・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、 6 成人に達している場合 ・未成年ではあるが、市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ている場合 等 (3) 次の理由により、課税証明書等を提出しません 上記(1)の生業扶助(高等学校等就学費)受給世帯でない世帯の場 所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後 合は、図してください。 在しない場合)であるが、未成年で「道府県民利 入を得ていない場合 <注意> 生活保護を受給していても、生業扶助(高等学校等就学 費)を受給していない世帯の場合も、☑する。 ※1(2)または(3)の場合には、下記の内容を ▲私の世帯は、7月1日現在、生活保護法第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)は受給していませ h. ※必須項目 【世帯員等の状況について】 非課税世帯の場合のみ記入(生業扶助世帯は記入不要)〈令和6年7月1日現在〉 パート、アルバイト等をしていない場合は「無職」と記入願います。 <mark>成年</mark> 申請者と扶養者が異なる場合「扶養者別」と記入願います。

V/ 71 7	TRIII SA II.	JULY COL		
	続柄	氏 名	生年月日(年齢) 職業・学校名・ 学年等	(高校生等の場合) 課程 備考
世帯	母	茨城 花子	S 〇 〇 . 5 . 8 (4 2 才) 会社員	□通信制 □専攻科 □通信制以外
員	姉人	茨城 花美	H〇〇. 3.25(20才) 無職	□通信制 □専攻科 □通信制以外
\mathcal{O}	姉\	茨城 花恵	H○○. 9.10(17才) ▼ ○○高校3年生	□通信制 □専攻科 ☑通信制以外
状	\		(7)	□通信制 □専攻科 □ 直信制以外
況		申請者も記入して	高校生の場合は、学校名・学	古校化の担合は まりナフ
		ください。	年も記入してください。	高校生の場合は、該当する □に図を入れて下さい。
	交使用欄	ター ロ		

預金種別 1 普通 2 当座 3 その他() 振替ロアを番号 No. フリガナを名義人氏名 名義人氏名 試場から私に支払われる国公立高等学校等奨学給付金は、特に申しましたい限り上記の口座に振り込んでください。 令和 6年 7月 日 (〒 ー) 住所名前	<u>-</u>	金融 機 関 名		銀行		支店
振 替 ロ 座 番 号 No. フ リ ガ ナ を 名義人氏名 が県から私に支払われる国公立高等学校等奨学給付金は、特に申し をしない限り上記の口座に振り込んでください。 令和 6年 7 月 日 (〒 ー) 住所		T				
替 口座番号 No. 口 フリガナ 座 名義人氏名 芸城県から私に支払われる国公立高等学校等奨学給付金は、特に申しました。 きしない限り上記の口座に振り込んでください。 令和 6年 7月 日 (〒 ー) 住所		預 金 種 別	1 普通	2 当座	3 その他()
座 名義人氏名 名義人氏名 名義人氏名 おりといいでは、特に申しをしない限り上記の口座に振り込んでください。		口座番号	No.			
名義人氏名 「城県から私に支払われる国公立高等学校等奨学給付金は、特に申しをしない限り上記の口座に振り込んでください。						
をしない限り上記の口座に振り込んでください。 令和 6年 7 月 日 (〒 -) 住所						
		名義人氏名 				
名前	きしな	 い限り上記の口座に	振り込んでください 日			
	をしな	 い限り上記の口座に	振り込んでください 日 (〒			

注1: 振替口座は、必ず申請者名義の口座を指定してください。

注2: 変更・解約の際は、申し出てください。

注3: 指定する口座の通帳の写等(金融機関、支店、口座番号、口座名義 (フリガナが確認できるもの)を添付してください。

県内用 記入例

口座振替依頼書

金	融機関名	〇〇 銀行 △△ 支店
	預金種別	1 普通 2 当座 3 その他()
振替	口座番号	No. 1234567
口座	フリガナ	イバラキ ハナコ
	名義人氏名	茨城 花子

茨城県から私に支払われる国公立高等学校等奨学給付金は、特に申し出を

しない限り上記の口座に振り込んでください。

ОВ

名義人氏名と名前は申請書に記入した申 請者名と同一にしてください。

基準日(7/1)以降の申請日を記載 してください。

令和 6 年 → 7月

(T 000 – 0000

住所 茨城県水戸市笠原町⊙一〇

名前 茨城 花子 ▲

(電話番号 029-000-0000)

茨城県立鉾田第二高等学校長 殿

注1: 振替口座は、必ず申請者本人名義の口座を指定してください。

注2: 変更・解約の際は、申し出てください。

注3: 指定する口座の通帳の写し等(金融機関、支店、口座番号、口座名義

(フリガナが確認できるもの)を添付してください。

歳)

扶 養 誓 約 書

扶養者住所:

扶養者氏名:

茨城県立鉾田第二高等学校長 殿

以下の事	の事項を必ず確認の上、□にレ印及び必要事項を記入してください。 □この誓約書の記載内容は、事実に相違ありません。						
私と下詞 を誓約しす	己の者は、健康保険法等における = す	扶養者と被扶養者の関係と同	等の関係に	こあること			
	①被扶養者氏名						
	①被扶養者生年月日・年齢	(歳)				
	①被扶養者との続柄 (注)						
	②被扶養者氏名						
	②被扶養者生年月日·年齢	(歳)				
	②被扶養者との続柄 (注)						
	③被扶養者氏名						
	③被扶養者生年月日·年齢	(歳)				
	③被扶養者との続柄 (注)						
	④被扶養者氏名						
	④被扶養者生年月日・年齢	(歳)				
	④被扶養者との続柄 (注)						
	⑤被扶養者氏名						

(注) 扶養者から見た被扶養者との続柄(長女・二男等)を記載してください。

⑤被扶養者生年月日·年齢

⑤被扶養者との続柄(注)

令和 6年 7月 ○日

扶 養 誓 約 書

茨城県立鉾田第二高等学校長 殿

扶養者住所: **茨城県水戸市笠原町**〇一〇

扶養者氏名: 茨城 花子

以下の事項を必ず確認の上、□にレ印及び必要事項を記入してください。

□この誓約書の記載内容は、事実に相違ありません。

私と下記の者は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

①被扶養者氏名	茨城 花美
①被扶養者生年月日・年齢	H○○.3.25 (20歳)
①被扶養者との続柄 (注)	長女

②被扶養者氏名	茨城 花恵
②被扶養者生年月日・年齢	H○○.9.10 (17歳)
②被扶養者との続柄 (注)	二女

③被扶養者氏名
②独共美老生年日日・年齢 (告)

7月1日現在で扶養されている15歳以上(中学生を除く)~23歳未満の兄弟姉妹の情報を記入してください。

④被扶養者生年月日·年齢	(荿)
④被扶養者との続柄 (注)		
⑤被扶養者氏名		
⑤被扶養者生年月日・年齢	(歳)
⑤被扶養者との続柄 (注)		

(注) 扶養者から見た被扶養者との続柄(長女・二男等) を記載してください。

様式1-3 (その1) (別紙)

「茨城県国公立高等学校等奨学給付金受給申請書」記入上の注意

【様式1-1(その1)対象となる高校生等について】は、次により記入してください。

- イ 現在通っている学校の在学期間について、記入してください。また、過去に高等学校等に在学したことがある場合に は、当該学校の在学期間についても記入してください。
- ロ 「高等学校等」とは、国公私立の高等学校(専攻科を含む)、中等教育学校の後期課程、高等専門学校(第1学年から第3学年まで)、専修学校及び各種学校のうち高等学校の課程に類する課程を置くものとして文部科学省令で定めるものをいいます。
- ハ 「学校の種類・課程・学科」の欄には、「①高等学校(全日制)」、「②高等学校(定時制)」、「③高等学校(通信制)」、「④高等学校(専攻科)」、「⑤中等教育学校(後期課程)」、「⑥中等教育学校(専攻科)」「⑦高等専門学校(1~3学年)」、「⑧専修学校(高等課程)昼間学科」、「⑨専修学校(一般課程)昼間学科」、「⑩専修学校(高等課程)通信制学科」、「⑩専修学校(高等課程)通信制学科」、「⑪専修学校(高等課程)通信制学科」、「⑪専修学校(の他)」の別を記入してください。

【様式1-2(その1)保護者等の収入の状況について】は、次により記入してください。

- イ 保護者等とは、親権を行う者(親権を行う者のないときは未成年後見人)をいい、次の①~⑤は除きます。
 - ①児童福祉法(昭和22年法律第164号)第33条の2第1項、第33条の8第2項又は 第47条第2項の規定により親権を行う児童相談所長
 - ②児童福祉法第47条第1項の規定により親権を行う児童福祉施設の長
 - ③法人である未成年後見人
 - ④民法 (明治29年法律第89号) 第857条の2第2項に規定する財産に関する権限のみを 行使すべきこととされた未成年後見人
 - ⑤その他生徒の就学に要する経費の負担を求めることが困難と認められる保護者
- ロ (1)に該当する場合は、7月1日現在の生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出してください。
- ハ (2)②に該当するときは、必ず「親権者」全員の状況を確認の上、記入してください。
 - (2)②の「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合」とは、例えば、ドメスティックバイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合が該当します。この「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合」は、(2)⑤及び⑥並びに(3)の「親権者が存在しない場合」に含まれます。
- ニ (2)①、③又は④に該当するときは、保護者等全員の住民税(非)課税証明書等を添付してください。
- ホ (2)④、⑤又は⑥に該当するときは、<u>生徒本人、又は主として生徒の生計をその収入により維持している者</u>(医療保険各法(注)における扶養者等)の課税証明書等を添付してください。また、主として生徒の生計をその収入により維持している者がいるかどうかについて確認できる書類<u>(扶養誓約書)</u>を添付してください。
 - (注) 医療保険各法とは、健康保険法、船員保険法、国民健康保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法又は 私立学校教職員共済法をいう。

【世帯員等の状況について】は、次により記入してください。

15歳(中学生は除く。)以上23歳未満の被扶養者については、**扶養を確認できる書類(扶養誓約書)**を添付してください。

留意事項

- イ 過去に国公私立を問わず高等学校等(修業年限が3年未満のものを除く。)を卒業し又は修了したことがある場合に は、奨学給付金の受給資格はありません。
- ロ 2校以上の学校に在学している場合は、いずれか1校を選んで申請をしてください。
- ハ 認定基準日現在、児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金について(平成11年4月30日厚生省発児第86号)による措置費等の支弁対象となる高校生等であって、見学旅行費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く)が措置されている場合は、補助対象外となります。